

令和5年度東京都

地域学校協働活動推進フォーラム/コミュニティ・スクール推進フォーラム

コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の 一体的推進に向けて

三鷹市立おおさわ学園スクール・コミュニティ推進員

倉田 清子

学校運営協議会と地域学校協働本部の 2つの機能を持つCS委員会

2008年4月 小・中一貫校 おおさわ学園(大沢台小学校・羽沢小学校・第七中学校) 開園
おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会 設立

「おおさわ学園はコミュニティ・スクールです」

- ・保護者、地域の
当事者感
- ・既存の組織との
関係

おおさわ学園

コミュニティ・スクール委員会

一人ひとり
みんながCSを
ささえているだよ！



おおさわ学園CS
キャラクター「さわっち」

評価部会:学園運営状況の点検、評価に関する支援活動

コーディネート部会:サポート隊や地域人財活用等の調整

広報部会:CSだよりやHP等を通じて情報発信

①地域・家庭の「声」を

学校運営に活かす

②地域・家庭の「チカラ」を

教育活動に活かす

CS委員会(部会)による『支援』のかたち

地域・家庭の「チカラ」を教育活動に活かす

- ・『サポート隊』などの学習支援
- ・地域の環境を活用した学習
- ・人間力を豊かにする地域活動

CS委員会
支援部の実働
が負担増



サポート隊
(授業支援、校外引率、部活動見守りなど)



ほたるの里

総合防災訓練



盆踊り屋台



放課後学習教室
みたか地域未来塾



各種検定

『七中生ボランティア活動』地域の役に立つ、褒められる⇒「自己肯定感、社会性」

CS委員会（全体）による『支援』のかたち

そもそも先生方
本心で必要と
思っています？

『おおさわ学園の先生方とCS委員との懇談会』や『熟議』の開催

①先生方から「授業に活用したい地域資源や人財（ゲストティーチャー）
サポートが必要な分野」を聞き取り

②CS委員から「こんな授業はどうですか？」という提案

『地域人財の皆様とおおさわ学園の先生方・CS委員との懇談会』の開催

先生方の異動や、教育課程の変更、支援者の高齢化などにより、常にブラッシュアップが必要！

⇒

『社会に開かれた教育課程』

令和4・5年度学園研究
「小・中一貫カリキュラム」
に反映させる



防災分野



キャリア・
アントレ分野



理科・総合分野



地域歴史
・戦争体験分野



書道・音楽
・体育・保健分野

スクール・コミュニティ推進員の配置 (2020年4月)

「コミュニティ・スクール」と「スクール・コミュニティ」

コミュニティ・スクール 「地域とともにある学校づくり」学校運営協議会制度を設置した学校

スクール・コミュニティ 「学校を核とした地域づくり」

「スクール・コミュニティ推進員」は、地域学校協働活動を推進する団体の事務局を兼ねている
学校教育内の協働活動(学校のニーズに基く)と学校教育外の協働活動(社会教育
地域として子どもたちをどう育てるか)の双方をコーディネートする

設置の目的⇒教育活動に対して幅広い地域の支援を持続的に得ることを可能にする

CS委員会支援部
とのすみ分け

学校を核とした地域づくり＝ 『スクール・コミュニティ』を体現

子どもたちに
授業を通して
様々な体験を



ゲストティーチャー
学びの還元
(生涯学習)



地域ボランティア



地域防災訓練



地域探検サポート



子どもたちが
創っていく
コミュニティ



地域との協働
を通して
保護者が
コミュニティに
関わっていく



地域学校協働活動を推進する団体の設立 (2023年7月)

『おおさぼ』誕生！…ってなに？

学校と地域が共におおさわ学園の子どもたちと地域を育む

地域学校協働活動を推進する団体 『おおさぼ』

「地域」と「学校」をつなぎ、子どもたちの育ちや学びを支える

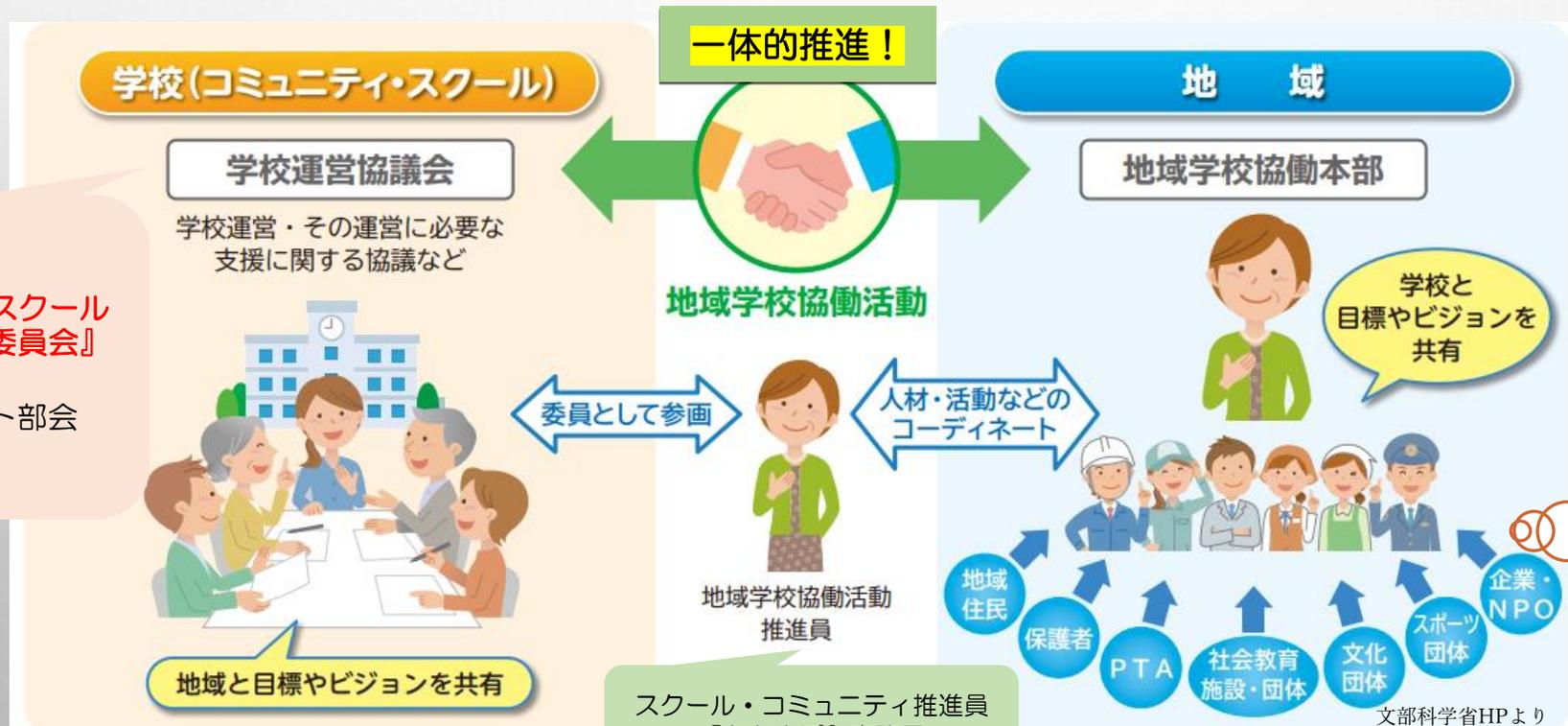
地域住民や保護者の有志による緩やかなネットワークです

より多様な他者が当事者として関われる仕組み

地域学校協働活動を推進する団体

『おおさぼ』

- 正会員はCS委員
- サポート隊などのサポート会員



『おおさわ学園
コミュニティ・スクール
委員会』

- 評価部会
- コーディネート部会
- 広報部会

- わかるようでわからない「緩やかなネットワーク」
- 「放課後子供教室」など行政管轄が違う

スクール・コミュニティ推進員
『おおさぼ』事務局

文部科学省HPより

でも、一体的推進になってる？

Do,やっていることは
見えやすいけど...

・PDCAサイクル「それぞれのPDCAを回す」

P→D 「ビジョンの共有」どう伝える？

D→C・A・P 「現場の思い」どう反映させる？

⇒CS委員会(学校運営協議会)の評価機能の見直し

CS委員の人選の見直し(「机上の空論」にしない)

・「多様な他者が学校に関わる重要性」

≠ 既存の地域団体、社会教育団体

＝「子どもと学校に目を向けている人たち」との

『ゆるやかなネットワーク』どうやって探す？どうつなげる？

学校のビジョンを伝えるだけでなく、お互いの目的のための

協力を提案(相利)

・コーディネーターに情報集中、コーディネーターを増やす・育てる

学校と地域、双方から見たPDCA (計画 → 実行 → 評価 → 改善)

効果的かつ持続的な学校運営と地域学校協働活動の仕組みを構築するためには、**学校運営協議会と地域学校協働活動のそれぞれのPDCAを回しつつ**、お互いが連携・協働することが重要です。



文部科学省HPより

「コミュニティづくり」の
芽は生えている！